ぎふ障スポだより

平成26年３月
第25号
2014.3.

編集・発行　岐阜県障害者スポーツ協会　〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉会館５階
TEL. 058-273-1111 (代) FAX. 058-273-9308　mail gisyousupo@human-i-land.com

２０２０年東京パラリンピック視野に入れ

岐阜県障害者スポーツ協会
会長　松井逸朗

日中は幾分暖かくなり梅の花が咲きはじめ、春の訪れを感じるようになりました。

今年度の事業も皆様のご協力により概ね終了し、次年度に向けた体制構築に取り組んでいるところです。

振り返ってみますと今年度は、一昨年の「ぎふ清流大会」で得た成果をいかに引き継ぎ、発展させていけるかが大きな目標であった一年間だったと思います。

本会の目的であるスポーツを通じた障がい者の社会参加推進については永遠のテーマであり、まだ道半ばではありますが設立当初に比べ、スポーツに参画する障がい当事者も増え、日々の活動の積み重ねが一番の近道であると痛感しています。

また、ぎふ清流大会の開催を契機に、県民の障がい者スポーツに対する理解も格段に広がりをみせてきました。こうした機運を活かしながら、これまで以上にスポーツに対する取組意欲の向上を図るため、普及、促進事業や功労者表彰制度の創設、更に上を目指す選手の強化推進事業など、県の支援を受けながら新たな事業にも取り組んできました。

また、岩本啓吾選手（飛騨神岡高）が県勢初の冬季パラリンピック出場を決め、その活躍が注目されるところであります。この機関紙が皆様のお手元に届く頃には、遠くソチの地で健闘していることと思います。

次年度に向けては、こうした取組を更に発展させ、スポーツを通じた社会参加の推進を基本としながら各種事業を実施する傍ら、県の後押しもいただき２０２０年東京パラリンピックをも視野に入れ、本県の障がい者スポーツの底上げを図っていきたいと思っています。

これらの推進には、本会設立当初の基本理念「いつでも、だれでも、どこでも、気軽に」を忘れることなく、引き続き、県内どの地域にあっても、スポーツ活動ができる組織基盤の強化にも取り組んでいきたいと思っています。

次年度の事業が障がいのある仲間にとって有益なものとなるよう力を尽くして参りますので、皆様の変わらぬご支援とお力添えをお願いし挨拶とします。

ソチパラリンピック情報

三月七日からソチで開催される冬季パラリンピックに岩本啓吾選手（飛騨神岡高）が県勢初の出場を決め、去る二月十二日に知事を表敬訪問しました。

出場競技は次のとおりです。

クロスカントリースキー
　スプリント・フリー一km
クロスカントリースキー
　立位フリー十km

今後の活躍を期待します。

第十一回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会開催

十一月二十四日（日）、快晴に恵まれた岐阜メモリアルアルセンターで、第十一回グラウンド・ゴルフ岐阜大会を開催しました。

この大会は、全国の障がい者がグラウンド・ゴルフを通じて交流と親睦を深め、障がい者の自立と社会参加促進を図るために開催され、今年は遠くは長崎県や鳥取県また神奈川県から、年令も四十代から八十代までと幅広く、二百八十四名の参加を得ました。

ミナモも参加した開会式の後、選手は長良川競技場と芝生広場に設定された長短交える八ホールずつのコースに別れ、開始の合図とともに一斉にスタートしました。競技は八ホールを終了したら会場を入れ替え、計十六ホールをプレーして合計打数を競いました。

特に長良川競技場の手入れの行き届いた芝生は大変好評で、「こんなに素晴らしい会場は初めて」という感想も多く聞かれました。三年ぶりの素晴らしい天候と相まって、参加者は、松井会長の「来年も、きっとお会いしましょう。」との呼びかけに、大きくうなずいていました。

表彰式の後に行われた恒例のお楽しみ抽選会では競技成績に関係なく大いに盛り上がり、楽しい一日を締めくくりました。

成績は次のとおりです。

赤　組
一位 和田喜代晴（郡上市）
二位 藤本　二郎（関　市）
三位 酒井　秀男（兵庫県）

青　組
一位 鹿野　道雄（瑞穂市）
二位 武仲　敏治（羽島郡）
三位 中島　輝男（海津市）

黄　組
一位 松山　義則（郡上市）
二位 伊藤　康夫（愛知県）
三位 高田　和己（本巣市）

障害者スポーツ教室

協会では、障がい者福祉の増進に資することを目的としてスポーツをする機会の得難い障がい者に対し、スポーツに親しむ機会を設けるためにスポーツ教室を行っています。

教室では、各競技のルールや心構え・障がいの特性に応じスポーツ技術等を指導しています。

本年度後期では、次の教室を開催しました。

車椅子バスケットボール教室

開催日　十月二十六三日（土）
会　場　岐阜県立関特別支援学校体育館
参加者　二名

土曜の午後からの教室でしたが、ルールの説明やシュート・パス等の実技指導を受けた後にゲームをして楽しみました。

アーチェリー教室

開催日　十一月九日（土）
会　場　関市中池公園内アーチェリー場
参加者　七名

関市アーチェリー協会の方から防具の付け方、矢を射るときの姿勢や照準器の調整、矢を射る時や的から矢を取る時の安全確保についての指導を受け、実技に取り組みました。

また、右利きや左利き用の弓・リリーサー（上肢障害用の補助具）等の用具を使用したり、口で弓を引くように工夫をして行い、的に矢が当たる楽しさを体験しました。

ボウリング教室

開催日　二月二十二日（土）
開　場　岐阜グランドボウル
参加者　四十三名

知的障がい者を対象として実施されました。岐阜県ボウリング連盟から講師を招き行いました。

公認障害者スポーツ指導員とは？

「障害者スポーツ指導員」とは、障がい者スポーツの普及と発展をめざし、障がい者のスポーツ環境を構築する上で必要な人材の養成並びに資質向上を図るための活動をしています。分かり易く言えば、運動障がいや精神障がいといった様々な障がいを抱えた人と、障がいを抱えていない健常者とが、一緒にスポーツ活動に取り組めるようにサポートをすることが主な役割です。障がい者スポーツは障がい者だけが活動するスポーツではなく、健常者も一緒に楽しめるスポーツということが大切なことです。具体的には、障害者スポーツ教室や障がい者スポーツイベントの開催運営に関わるお手伝い、障がい者スポーツの広報活動等も行っています。

障害者スポーツ指導員には、初級・中級・上級の三つの指導員に分かれています。

①初級スポーツ指導員

地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者で十八歳以上の方が資格取得可能です。

②中級スポーツ指導員

地域における障がい者スポーツのリーダーとしての役割を持ち、指導現場で充分な知識・技術と経験に基づいた指導ができる者で、初級障害者スポーツ指導員として、二年以上［八十時間（十日）以上］の活動経験がある者が資格取得可能です。

③上級スポーツ指導員

県レベルのリーダーとして、指導現場では障がい者スポーツの高度な専門的知識を有し、指導技術と豊富な経緯に基づいた指導と指導員を取りまとめる指導的立場になる者で、中級障害者スポーツ指導員として、三年以上［百二十時間（十五日）以上］の活動経験がある者が資格取得可能です。

全国には障害者スポーツ指導員が左記の人数が登録されています。

障害者スポーツ指導員…21590名

（内訳）　初級…18379名

中級……2488名

上級……723名

（平成二十六年一月三十一日現在）

右記資格を取得した私たち指導員のできること

普段の生活の中で障がい者スポーツと関わりのない方から「資格は取得したけれど生かし方がわからない」という意見をよく耳にします。わたくし自身も資格を取得した時は同じ不安を抱えていました。その時に、指導員の先輩方から教えていただいたことは、「いろいろなスポーツを観るだけでも視野を広げる勉強になる」「資格をとったから絶対にスポーツ指導ができないといけない！ということはない」「大会の運営や審判員として参加すること、選手の受付から誘導までもがスポーツ指導員として関われる仕事であるということ」「各イベントで障害者スポーツ指導員としていろいろな場面でいろいろな携わり方ができる業務の広さに魅力がある資格だということ」「得意分野は大いに参加して自分の経験を指導に役立ててもらうことができる」「全国障害者スポーツ大会へ介助として参加することでモチベーションのアップができること（全国の障害者スポーツ指導員と交流ができる）」

これからの指導員としての活動について

いつでもどこでもだれとでも（だれもが）が障がい者スポーツの基本ですから、スポーツ指導員が参加しやすい環境を整えていくことがこれからの課題だと思っています。近日中に各地域で情報連絡ができるよう準備を進めています。

今年も二月に日本障害者スポーツ協会公認初級障害者スポーツ指導員の資格講習会が開催され、新たに仲間を迎えることができたことに喜びを感じています。新しい指導員を迎えることで、指導員のかかわり方の多様化にも対応していくことができると思います。この資格の内容についてもまだまだ発展途上であり、たくさんの意見を述べていくことで筋道も確立されてくると思います。

地域から県・国・世界へと障がい者スポーツを盛り上げていく縁の下の力持ちに一緒になっていきませんか？

平成25年度　会員紹介

【個人会員】

伊藤伸寿、伊藤淑子、宇野博人、江口昂太、江崎昇、大嶽裕司、大原博岡村純子、小川真、奥野仁、尾関教孔、小田勝義、小野雄大、加藤桂蔵、川出奈美子、国枝美恵、桑原進一、栗本裕也、神山和彩、後藤ふうか、後藤陸斗、小林銷男、小林隆志、小林千夏、小村良寛、櫻谷祐子、佐藤猛、佐藤嗣浩、澤野由雄、清水道貴、下屋政仁、砂田一貴、関谷篤弘、関谷亜紀、関谷麻里、高井修、高井史子、柘植加代子、内木春明、中嶋茜、中島美子、長屋吉泰、西川見義、林浩、林武夫、春田圭治、伴野芳幸、平松薫、細江保雄、松井麻綾、馬渕旭弘、間宮達哉、溝口邦昭、溝口輝彦、道脇尚、村木和摩、森幹門、森井寅夫、諸石光照、矢嶋章浩、柳原勝太、山下真里佳、山路喬哉、山路竣哉、吉田春江、吉田雄城、和田喜代晴、渡辺功

【団体会員】

岐阜県身体障害者福祉協会、多治見市身障協会、瑞穂市身障協会、本巣市身障協会、岐阜県手をつなぐ育成会、岐阜県視覚障害者福祉協会、岐阜県身体障害者福祉協会体育部・グランドソフトボール、岐阜県障害者フライングディスク協会、羽島学園、三光園、養老福祉作業所、西美濃の里、美谷の里、美谷の風センタービレッジ、第一陶技学園、サニーヒルズみずなみ、飛騨特別支援学校卓球部、飛騨特別支援学校陸上部、電動車いすサッカーWings、じょう保会、ひばりクラブ、G&B、岐阜GUSH、すくすく岐阜、どんこくらぶ、あじさいクラブ、岐阜ゴールボールクラブ、岐阜シャイン、岐阜聾バレーボールクラブ女子、知的障害者サッカー岐阜選抜、岐阜IDクラブ男子、岐阜IDクラブ女子、ベアーズ岐阜、ピュア・マインド、岐阜エクスプレス

【賛助個人会員】

浦崎邦子、大嶋昭三、小倉一子、小栗昭義、加藤昇蔵、蔵澄孝治、樋口みゆき、尾藤義昭、藤園秀信、山田一郎

【賛助団体会員】

粟野事務機、株式会社サワダスポーツ、ミズノ株式会社、奥長良川名水株式会社、有限会社G・プラン、株式会社岐東オフィス、株式会社エアロクルーズ、株式会社ジャパンビバレッジセントラル

ご入会ありがとうございました。

障害者卓球クラブ『G&B』の活動紹介

平成二十四年、ともに熱く戦った『第十二回全国障害者スポーツ大会ぎふ清流大会』も成功裏の内に終わり、部員一同、次の目標に向かって、練習に励んでいます。

十年前に部を創設。十八歳から七十四歳までの二十人が、各方面での試合に参加し、交流を深めながら、健康維持に努めています。

毎年参加予定の主な試合

①岐阜県障害者スポーツ大会
②東海障害者
　オープン卓球選手権大会
③北信越肢体不自由交流卓球大会
④全国オープン身体障害者
　愛知ふれあい卓球大会
　等

過去にはそれぞれの大会で優勝した部員もいます。

また、『G&B』主管で五年前から『東海・北陸』障害者卓球大会を開催しています。岐阜県で是非開催してほしいという他県からの要望に応え、行ってきました。

今後も続けていきたいと考えています。

こんなクラブですが、一緒に卓球を楽しみたい方、ご一報ください。お待ちしております。

（連絡先
TEL058-382-6665
津田まで）

平成二十五年度被表彰者

【日本障害者スポーツ協会表彰】

平成二十六年二月十九日

〔功労章〕

第二十二回夏季デフリンピックバレーボール競技　準優勝
河尻　奈美（関市）
藤井　美緒（加茂郡）

【岐阜県文化・スポーツ功績賞】

平成二十六年二月二十一日

2013ワールドユースチャンピオンシップスゴールボール優勝
山路　竣哉（土岐市）

第二十二回夏季デフリンピックバレーボール競技　準優勝
河尻　奈美（関市）
藤井　美緒（加茂郡）

【岐阜県体育協会表彰】

平成二十六年二月二十七日

〔特別優秀選手賞〕

2013ワールドユースチャンピオンシップスゴールボール優勝
山路　竣哉（土岐市）

〔優秀選手賞〕

第二十二回夏季デフリンピックバレーボール競技　準優勝
河尻　奈美（関市）
藤井　美緒（加茂郡）

アジアユースパラゲームズ2013水泳競技百m自由形　二位
後藤　陸斗（関市）

2013INAS WOLD SWIMING CHANPIONSHIP メドレーリレー三位
篠原 貴史（岐阜市）

【岐阜県教育長表彰】

平成二十六年二月二十八日

2013ワールドユースチャンピオンシップスゴールボール優勝
山路　竣哉（岐阜盲）

第十三回全国障害者スポーツ大会陸上競技
三田明日香（岐阜盲）
溝川　未来（郡上特支）
早川　光（恵那特支）
大澤　慈（東濃特支）
間垣　雄也（中濃特支）
岐阜県選抜陸上競技リレー一位
（間垣雄也、根本光明、高木健護、水野佳奈）

水泳競技
後藤　陸斗（関特支）

バレーボール（聴覚女子の部 準優勝）
岐阜県聴覚障害者女子バレーボール
（田中麗、江崎美空、今井優、安江井さくら、小川舞夏、北川七星（学生のみ））

【岐阜県障害者スポーツ協会表彰】

〔功労賞〕

障がい者スポーツの振興、又は地域や各種団体等スポーツの発展に尽力し、顕著な功績のあった者を表彰。

田中　勇（障スポ指導者協）
西川　見義（障スポ指導者協）
加藤　軍男（障スポ指導者協）
河尻　奈美（関市）
藤井　美緒（加茂郡）
岩本　啓吾（飛騨神岡高）

〔優秀指導者賞〕

全国的レベル規模以上の大会で入賞した選手・チームの指導に、五年以上携わった指導者を表彰。

砂原　聖子（関特支）
高根　久志（県福祉事業団）
神村　重春（大垣市）

〔優秀選手・チーム賞〕

全国的レベル規模以上の大会（全スポを除く）で入賞した選手・チーム、又は大会新記録を樹立した選手

【個人】
山路　竣哉（岐阜盲）
山路　喬哉（土岐市）
篠原　貴史（にじのこ）
後藤　陸斗（関特支）
松井ゆずか（岐阜西SC）
羽賀　昭徒（岐阜市）
岩田　莉奈（岐阜GUSH）
鈴木　法英（岐阜GUSH）
小川　真（岐阜GUSH）
金村　光将（ウェルマッシュ）
諸石　光照（各務原市）
井上由美子（大垣市）
秋田　啓（岐阜SHINE）
田中　秀弥（岐阜SHINE）
棚橋　良（岐阜SHINE）
正橋　幸夫（岐阜SHINE）

【団体】
岐阜聴覚女子バレーボール
知的サッカー岐阜県選抜

〔全国障害者スポーツ大会優秀選手・チーム賞〕

全国障害者スポーツ大会の正式競技に出場し、上位3位以内に入賞した選手・チーム、又は大会新記録を樹立した選手を表彰。

【個人】
玉木智也（可児市）、山路竣哉（岐阜盲）、説田俊宏（大垣市）、楠田真之（関市）、佐藤猛（坂祝町）、坂倉勝義（瑞穂市）、宮口万実（岐阜聾）、三田明日香（岐阜盲）、水野尚美（清流園）、相宮野利子（関市）、長谷部湧亮（陽南中）、蒲原寛明（陽南中）、那須大輔（岐阜市）、間垣雄也（中濃特支）、根本光明（中濃特支）、金子和樹（郡上特支）、高木健護（東濃特支）、早川光（恵那特支）、菅谷直幸（けやき）、水野佳奈（岐阜特支）、加藤靖子（中濃特支）、溝川未来（郡上特支）、中田満帆（可茂特支）、大澤慈（東濃特支）、小野雄大（岐阜市）、後藤陸斗（関特支）、荻原久夫（土岐市）、岩田莉奈（本巣市）、鈴木琢人（岐阜市）、吉田雄城（養老町）、品川有稀（中濃特支）、山下真里佳（岐南町）、伊藤和則（大垣市）、篠田泰邦（美濃市）、大竹宏幸（岐阜聾）、植松敬司（岐阜聾）、小林隆志（各務原市）、増井貴久美（岐阜市）、安藤太志（東濃特支）、羽室竜之介（東濃特支）、水野利彦（東濃特支）、谷口雄基（高山市）、吉村美優貴（中濃特支）、関谷篤弘（羽島市）、松山義則（郡上市）、西戸鈴代（瑞浪市）、須田大貴（長良特支）、堀部亮介（揖斐特支）、伊藤翔太（中濃特支）、上野朋則（関市）、穂高太一（興文中）、新田真吾（白川町）、梅田一美（岐阜市）

【団体】
バレーボール聴覚女子岐阜選抜

おめでとうございました。

平成 26 年度 事業日程

岐阜県障害者スポーツ協会

開催日（予定）	事業名	開催地	対象者
4月19日（土）	第12回岐阜県障害者スポーツ大会春大会 車いすバスケットボール競技 知的バスケットボール競技	岐阜市 岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム	県下の障害者（全スポ予選） 肢 知
4月20日（日）	第12回岐阜県障害者スポーツ大会春大会 フットベースボール競技 ソフトボール競技 グランドソフトボール競技 サッカー競技	本巣市しんせいグランド 羽島市多目的運動場 岐阜県立岐阜盲学校 岐阜市島西運動場	県下の障害者（全スポ予選） 知 知 視 知
4月27日（日）	第12回岐阜県障害者スポーツ大会春大会 聴覚バレーボール競技 知的バレーボール競技 精神バレーボール競技	山県市総合体育館	県下の障害者（全スポ予選） 聴・知・精
5月11日（日）	第12回岐阜県障害者スポーツ大会春大会 水泳競技	岐阜市 岐阜メモリアルセンター 長良川スイミングプラザ	県下の障害者（全スポ予選） 身体・知的障害者
5月11日（日）	第12回岐阜県障害者スポーツ大会春大会 ボウリング競技	瑞穂市 岐阜グランドボウル	県下の障害者（全スポ予選） 知的障害者
5月18日（日）	第14回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック大会	岐阜市　柳津運動場	県下の視覚障害者
5月18日（日）	第14回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック大会 フットベースボール競技	静岡県牧之原市	知的障害者
5月中旬	第14回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック大会 バスケットボール知的男子・女子	長野県松本市	県下の知的障害者
5月25日（日）	第12回岐阜県障害者スポーツ大会春大会 卓球競技	岐阜市 岐阜メモリアルセンター で愛ドーム	県下の障害者（全スポ予選） 身体・知的障害者
5月24日（土） ～25日（日）	第14回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック大会 車椅子バスケットボール競技	静岡県浜松市	県下の身体障害者
6月1日（日）	第12回岐阜県障害者スポーツ大会春大会 アーチェリー競技	関市 中池公園アーチェリー場	県下の障害者（全スポ予選） 肢
6月1日（日）	第14回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック大会 バレーボール聴覚男子・女子	静岡県静岡市	聴覚障害者
6月7日（土）	第14回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック大会 ソフトボール競技	愛知県　日進市	県下の知的障害者
6月8日（日）	第12回岐阜県障害者スポーツ大会春大会 陸上競技 フライングディスク競技	岐阜市 岐阜メモリアルセンター 長良川競技場・芝生広場	県下の障害者（全スポ予選） （肢・聴・視・内・知）
6月15日（日）	第14回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック大会 サッカー競技	三重県　東員町	県下の知的障害者
6月15日（日）	第14回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック大会 バレーボール知的男子・女子	新潟県　新潟市	県下の知的障害者
6月21日（土） ～22日（日）	第14回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロック大会 精神バレーボール	岐阜県山県市 山県市総合体育館	県下の精神障害者
6月～10月	第14回全国障害者スポーツ大会 各競技合宿・練習	岐阜県内各地域	全スポ出場者
7月（未定）	卓球教室	大垣市	県下の身体・知的障害者
7月（未定）	フライングディスク教室	関市	県下の身体・知的障害者
7月（未定）	アーチェリー教室	関市	県下の身体・知的障害者
10月5日（日）	第19回長良川ふれあいマラソン大会	海津市　特設会場	全国の障害者、健常者
10月11日（土）	西濃ブロック体育大会	大垣市　浅中公園陸上競技場	西濃地区身体障害者
10月12日（日）	東濃ブロック体育大会	中津川市　陸上競技場	東濃地区身体障害者
10月19日（日）	第12回岐阜県障害者スポーツ大会秋大会 ドリームスポーツ大会	岐阜市 岐阜メモリアルセンター	県下の障害者 肢・視・聴・知
10月26日（日）	岐阜A・Bブロック体育大会	羽島市　桑原中学校	岐阜地区身体障害者
10月26日（日）	中濃ブロック体育大会	関市　中池公園	中濃地区身体障害者
10月26日（日）	飛騨ブロック体育大会	飛騨市 古川町トレーニングセンター	飛騨地区身体障害者
11月1日（土） ～3日（月）	第14回全国障害者スポーツ大会	長崎県	全国の障害者 肢・視・聴・知・精
11月16日（日）	第12回全国身体障害者グラウンド・ゴルフ岐阜大会	岐阜メモリアルセンター	全国の身体障害者
11月20日（木）	第22回岐阜県サイコリンピック	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム	県下の精神障害者
11月（未定）	アーチェリー教室	関市	県下の身体障害者
11月（未定）	車いすバスケットボール教室	関市	県下の身体障害者
11月（未定）	ボウリング教室	未定	県下の知的障害者
2月（未定）	障害者初級スポーツ指導員養成講習	岐阜市	希望者

肢：肢体不自由、視：視覚障害、聴：聴覚障害、知：知的障害、精：精神障害、内：直腸・ぼうこう機能障害

※　都合上、日程・会場等変更になる場合があります。

平成二十六年度実施事業概要

平成二十六年度実施予定の主な事業は次のとおり。

一　競技別スポーツ教室の開催〔継続〕

(1) 水泳
(2) アーチェリー
(3) 卓球
(4) フライングディスク
(5) ボウリング
(6) 車椅子バスケットボール
(7) ボッチャ〔新規〕

二　各種大会の開催〔継続〕

(1) 身体障害者地区別体育大会
(2) 県スポーツ大会春大会兼全スポ選手選考会
(3) 県スポーツ大会秋大会〔一部拡充〕
(4) 全国身体障害者グラウンド・ゴルフ大会
(5) 県サイコリンピック大会

三　全国障害者スポーツ大会関連事業〔継続〕

(1) 北信越・東海ブロック予選の開催及び代表チーム派遣
(2) 当年大会出場選手強化事業
(3) 強化指定選手強化推進事業
(4) 全スポ長崎大会選手団派遣

四　パラリンピック等出場選手育成・支援事業〔新規〕

五　全国規模以上の大会等招致推進事業〔新規〕

六　各種助成事業〔継続〕

(1) スポーツ普及・促進事業
(2) 大会出場助成金交付事業
(3) 団体活動助成金交付事業

七　その他事業〔継続〕

(1) 組織運営
・理事会の開催
・専門委員会の開催
(2) 各種研修・養成事業
・スポーツ指導員養成講習
・身体障害者体育指導員研修
・ボランティア養成研修
(3) スポーツ振興事業
・スポーツ功績者等表彰事業
・スポーツ用具貸出事業
・その他、障がい者スポーツ振興に係る事業

本県では、東京オリンピック・パラリンピックの開催等を踏まえ、昨年には「清流の国ぎふ二〇二〇プロジェクト推進本部」が発足。一般の競技スポーツと同様、障がい者スポーツについても、県の施策として一体的に取り組んでいます。

第十二回岐阜県障害者スポーツ大会春大会参加者募集

第十二回岐阜県障害者スポーツ大会春大会の参加者を募集しています。

参加資格　平成二十六年四月一日現在で中学生以上。ただし北信越・東海ブロック及び全国障害者スポーツ大会の代表選手対象は、平成二十六年四月一日現在十三歳以上の者とする。県内に住民票を有する者。

募集競技（対象）

個人競技

陸上競技（身体（中学生・高校生のみ）・知的）、フライングディスク競技（身体（中学生・高校生のみ）・知的）、水泳競技（身体・知的）、卓球競技（サウンドテーブルテニス含）（身体・知的）、アーチェリー競技（聴覚、肢体不自由、内部）、ボウリング競技（知的）

団体競技

バスケットボール（知的）、車椅子バスケットボール（身体）、ソフトボール（知的）、グランドソフトボール（視覚）、バレーボール（聴覚・知的・精神）、サッカー（知的）、フットベースボール（知的）

開催期日、会場、申込期日

開催日時	競技名	開催場所	申込期日
4/19(土)	車椅子バスケットボール競技 バスケットボール競技（知的）	岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム	4/14(月)
4/20(日)	グランドソフトボール競技	県立岐阜盲学校	4/14(月)
	サッカー競技	岐阜市島西グランド	
	ソフトボール競技	羽島市多目的グランド	
	フットベースボール競技	本巣市しんせいグランド	
4/27(日)	バレーボール競技 （聴覚・知的・精神）	山県市総合体育館	4/18(金)
5/11(日)	水泳競技	岐阜メモリアルセンター 長良川スイミングプラザ	4/21(月)
5/11(日)	ボウリング競技	瑞穂市グランドボウル	4/21(月)
5/25(日)	卓球競技（サウンドテーブルテニス）	岐阜メモリアルセンター で愛ドーム	5/9(金)
6/1(日)	アーチェリー競技	関市中池公園 アーチェリー場	5/23(金)
6/8(日)	陸上競技 フライングディスク競技	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場・補助競技場	5/9(金)

その他詳細につきましては、本会事務局までお問い合わせください。

TEL058-273-1111（内線2542）

岐阜県障害者スポーツ協会ホームページ開設

本会は、昨年で設立十年の節目を迎えました。

そこで、今まで以上皆さんにとって身近な組織となるよう、遅まきながら本会ホームページを開設しました。

ホームページの概要は次のとおりです。

一　協会概要

本会の概要、事業内容のほかアクセス方法をご覧いただけます。

一　行事予定

四月から翌年三月までの主だった事業の日程を、月別に掲載しています。

ここには掲載されていない事業や、日程等の詳細が未定だった事業については、随時「新着情報」でお知らせします。

一　会員募集

本会の運営には欠かせない会員の募集について、ご案内しています。

皆さん一緒に障がい者スポーツを盛り上げていきましょう。

一　ボランティア募集

このページでは、様々な事業の実施にご協力いただけるボランティアを募集しています。是非ご協力をお願いいたします！

一　協会だより

年三回発行する協会だよりを掲載しています。

創刊号から全てをご覧いただけます。

一　ブログ

各種事業の様子や日々のでき ごと等、様々な話題を提供できるよう努めます。

一　書類ダウンロード

各種申込等の様式をダウンロード可能です。

一　リンク集

県内外の関係機関、団体等のホームページにリンクしています。

相互リンクをお願いできる皆様、是非お声かけください！

ソチオリンピック大会 概要

第二十二回オリンピック冬季競技大会ソチ大会が、二月七日㈮～二十三日㈰の十七日間行われました。開催都市はソチ（ロシア・クラスノダール地方）というロシア南部の黒海に面したロシア随一の保養地です。人口はおよそ四十万人、二月の平均気温は海岸エリアで五度から十度、山岳エリアでマイナス一度からマイナス六度と冬季競技大会を行うにはとても良い環境と言えます。

日本との時差はマイナス五時間。主要競技の決勝は日本時間の深夜に集中しそうです。大会では、七競技九十八種目と十二の新種目も見ることができます。フィギュアスケート、スキー、スノーボード等、日本人選手も多数出場します。日本の歴代メダル数は金九、銀十三、銅十五です。今年は金一、銀四、銅三、計八獲得しました。

編集後記

ソチオリンピック、パラリンピックの余韻も冷めやらぬまま、平成二十五年度も終わりを迎えようとしております。

この一年、多くの人が何らかのスポーツに接する機会があったのではないでしょうか。オリンピックのような世界的な大会から、学校の運動会やクラブ活動などの身近なもの、自分が参加することもあれば、観戦や応援という場合もあります。そのすべてに、楽しさや喜び、悔しさや辛さ、多くのドラマがあったと思います。そして、そこから、また、スポーツを楽しみたいという気持ちが生まれ、新たな年度につながっていくことでしょう。

平成二十六年度もより多くの方がスポーツを楽しんでいけることを願っています。（藤）